

まみちゃん カツレポ

北海道議会議員
うえむら真美の
活動レポートです！

2021.05.07



令和3年2月25日～3月24日にかけて、北海道議会 令和3年第1定例会が開会され一般質問で登壇しました。また、予算特別委員会の委員となり日頃からの地域の声や空知の課題対策など発言させていただきました。詳しくは次ページ以降にてご覧ください。

令和3年第1回定例会での発言！

空知の声 発信！



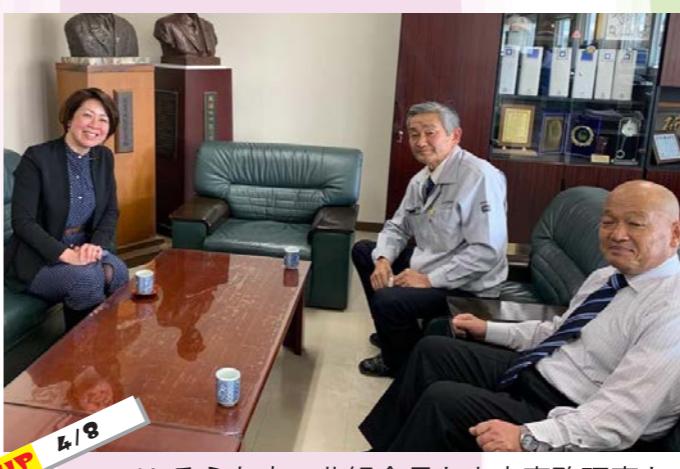
予算特別委員会でも質問！



Hot news

コロナ禍の現場の声を！各市町や団体を訪問

※写真撮影時はマスクを外しました



JAそらち南 北組合長と山本専務理事と
コロナ禍での農業支援策など意見交換



美唄市板東市長と職員の方々と
水道事業・ホワイトデータセンター設置等意見交換

秩父別町の旅
プロッコリー麺の旅

秩父別町の旅
プロッコリー麺の旅

北竜町佐野町長と
UP 2/18

雨竜町竹ヶ原議長はじめ議員の方々と
UP 4/30

沼田町横山町長と
UP 2/18

facebook

YouTube はじめました！

うえむら真美チャンネル登録
お願いしま～す！

Make a smile

Sorachi

お友達になりましょ！

空知を発信！

SNS×ラジオで
FM G'sky 毎月第4火曜日 16:30
空知を発信するラジオ番組
「空知ぶらり旅」放送

スペシャルゲスト
浦臼町川畑町長!!

私たち
はじめます！

コロナ禍でお米の消費応援！

小さな炊飯器で職場出張先でも
空知米おいしく！いただいています！

清水沢発電所 発電式
夕張市厚谷市町と
UP 3/25

『空知ぶらり旅』16回目の旅先
は。。(後半)
youtube.com

あなたもゲストでぜひ！

令和3年第一定例会 うえむら真美の一般質問

【農業団体の方々とのお話の中で】

コロナが続く中で、外食産業の低迷とともに米の在庫が残ることの不安の声を多く伺いました。米をはじめとした農産品や特産品の消費拡大について質問。

質問1. コロナ禍における農業支援について

- (関連質問) 2. 道産品の海外販路拡大について
3. どさんこプラザ海外店の取り組み

【答弁】 A • 積極的な消費拡大が必要だと思っている。
• 道内スーパー等と協力したPRや

関係団体と連携した「ごはん増量キャンペーン」
• 海外における巣ごもり需要を踏まえた輸出拡大等



沼田町更新地区のみなさま

(その後の北海道の動きとして)
北海道農業再生協議会水田部会では、主食用米を削減し、飼料用米などに転換する方針を決め、協力した農家に緊急の助成金を払うこと等決定される。

【製造業、中小企業の方々とのお話の中で】

道内には、中小企業が多く、人口減少が続く中、後継者になり手不足が課題である。さらに、コロナ禍で大手企業のもとで仕事をしている製造業などは事業の縮小傾向にあるなど困惑の色が濃くなっている。

質問4. 事業承継について

- (関連質問) 5. 中小企業の支援について

- 円滑な世代交代を図ることは喫緊の課題
- 地元金融機関や産業支援機関等と連携した支援
- 親族外継承の促進に向けて「後継者人材バンク」活用
- 道内6圏域にコーディネーターを新たに配置する等



地元企業の方々と中小企業総合支援センターへ

【企業の先進的な取り組みのお話から】

世界、我が国でも掲げる2050年CO2排出ゼロ。北海道の資源力である石炭を中心とした産業においても、新たな技術開発が行われている。石炭産業に関わる事業者が新たな方向性を描けるようにすべき。宇宙産業では、先端技術を活かした挑戦に取り組む企業が空知地域にもある。関連する実験、研究を誘致することなど今後どのようにサポートしていくか。

質問6. 新たな技術開発のサポートと推進について

- 石炭産業はCCUSや石炭地下ガス化の技術開発推進
- 「石炭資源有効活用研究会」で石炭利用拡大を
- 昨年「北海道宇宙関連ビジネス創出連携会議」設立
- オール北海道で宇宙産業の活性化に取り組んで行く



宇宙産業事業を手がける植松電機視察

【三笠市、美唄市、月形町などの大雪だった地域の声】

今シーズンの豪雪の事態に関連し、今後も異常気象の影響などで災害が発生することが予想される。アメダスの観測だけではなく、市町村が独自で計測する積雪などの情報も共有し、いち早く状況の把握をしながら防雪に関する情報発信を工夫すべき。

質問7. 雪害防止のための情報のあり方について

- A • これまで以上に振興局などと様々なチャネルを通じて、地域の実情を把握する市町村発の情報収集しきめ細かな雪害対策が実施できるよう努める



雪害で崩壊したビニールハウス視察（浦臼町）

【雨竜町や南幌町関係者の方からのお話を伺い】

コロナが長引く中で、特別支援学校（養護学校）の生徒や関係者もストレスが高まっている現実を受け止める。寄宿舎、登下校時の体制含めて、さらなる支援の考え方や加えて職業教育の中でのテレワークなどの情報技術の活用について質問します。



質問8. 特別支援学校について

- スクールバスの増便による乗車人数の削減や寄宿舎での感染対策強化
- スクールサポートスタッフを活用。学校、家庭、地域が一体となるように努める
- 障がいのある生徒が情報活用能力を身に着け居住地によらない就職選択

この度、令和3年第一定例会予算委員会において、うえむら真美も委員となり、3日間の各部審査において、日頃、地域から寄せられている課題や所属する会派自民党道民会議からの質問をしました。

3月17日 建設部

- 赤レンガ庁舎の改修工事について
- 建設分野における 温室効果ガス排出削減について
- 北海道土地開発公社について
- 道道における冬期の安全対策について



3月18日 教育委員会

- 学校教育における働き方改革について
- 幼児教育の推進について
- 地学協働活動の推進について
- 教職員の不祥事防止について
- 学校における食育の推進について
- ウィンタースポーツの推進について
(スキー場の広域運営の考え方)

広報担当のみなさまへ
ありがとう!
感謝申し上げます



新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、各地域の訪問も十分に出来ていないため、空知各市町の担当の方から広報を送っていただいております。その中で、各地の出来事や課題など情報を共有させていただいております。引き続き定例会や委員会の中においても参考にさせていただき、空知の発信力を強めていきたいと思います。大変お手数をおかけしておりますが今後とも何卒よろしくお願ひいたします。

うえむら真美事務所 ホームページ：<https://uemuramami.jp/>
〒079-1135 赤平市錦町1丁目2-6 北日ビル101 TEL.0125-28-8880 FAX.0125-28-8881
○平日は、9時から15時まではスタッフが在所しております。 ○このカツレポはうえむら真美本人が作成したものです。